

めざせ！住みたくなるまち日本一・西津

西津地区まちづくりプラン

《 詳細編 》



～平成16年3月策定～

西津・やうちのまちづくり委員会

目次

はじめに

<生活環境編>

- 基本テーマ ……1
- 第1章 居心地のよいまちづくり（生活基盤整備） ……2
 - 第1節 子供、高齢者および障害者の生活に配慮したまち
 - 第2節 みんな元気に遊ぶまち
 - 第3節 たくさん子供が生まれるまち
- 第2章 自然を生かしたまちづくり（環境保全） ……3
 - 第1節 きれいな水が流れるまち
 - 第2節 きれいな海・浜を求めて
 - 第3節 ゴミゼロのまちづくり
 - 第4節 四季を感じるまちへ
- 第3章 安心して住めるまちづくり（交通安全・防災・防犯） ……5
 - 第1節 地区内交通事故ゼロを目指して
 - 第2節 大雨も怖くない、防災に強いまち
 - 第3節 夜道も安心、明るいまち

<産業観光編>

- 基本テーマ ……6
- 第1章 歴史ある産業が時代に適合するまちづくり ……7
 - 第1節 日本食の基本「水産業」の活性化
 - 第2節 食文化の基本「箸産業」の活性化
 - 第3節 時代に適合した新たな産業の創設
- 第2章 訪れる人も住んでいる人も心やすらぐまちづくり(観光) ……11
 - 第1節 もてなしの心育てるまちづくり
 - 第2節 心と心が交流できるまちづくり

<教育福祉編>

- 基本テーマ ……14
- 第1章 人材育成をめざすまちづくり ……15
 - 第1節 家庭教育の充実をめざす
 - 第2節 学校教育の充実をめざす
 - 第3節 地域の教育力の回復をめざす
 - 第4節 社会教育の充実をめざす
 - 第5節 スポーツ・レクリエーション充実をめざす
 - 第6節 食生活や食育の改善・充実をめざす
- 第2章 生きがいに満ちた福祉のまちづくり ……19
 - 第1節 高齢者福祉を第一義に考えるまちづくりをめざす
 - 第2節 弱者にやさしいまちづくりをめざす
 - 第3節 安心して暮らせる思いやりに満ちたまちづくりをめざす

<歴史文化編>

- 基本テーマ ……21
- 第1章 西津の歴史の調査・伝承 ……22
 - 第1節 西津の歴史の調査
 - 第2節 西津の歴史の保存・伝承
- 第2章 西津の文化の調査・伝承 ……23
 - 第1節 西津の文化の調査
 - 第2節 西津の文化の保存・伝承と新しい文化の創造

付記 西津・やうちのまちづくり委員会 名簿

西津・やうちのまちづくり 生活環境編

◎基本テーマ

みんなが「やうち」と呼べるまちをめざして

サブテーマ～みんながふるさとに住める環境の創生～

<テーマ説明>

「やうち」＝隣、近所で醤油等の貸し借りができる、そんなみんなで助け合い、持ちつ持たれつで関係で支えあってきた関係の人々を、西津では古くから「身内の者」というような親愛の意を含め「やうち」と呼んでいます。最近では、社会集団の個別化が進み、近所付き合いが敬遠される中、本部会では、これからの西津として、人と人とが強いつながりを持つこの「やうち」と呼べる関係を重視し、みんなが「やうち」と呼びあえるまちづくりを進めていくことを基本とし、それに沿った生活環境の整備、下町の再生をめざします。

<目次>

- 第1章 居心地のよいまちづくり（生活基盤整備）
 - 第1節 子供、高齢者および障害者の生活に配慮したまち（道路の整備）
 - 第2節 みんな元気に遊ぶまち（公園施設の有効活用）
 - 第3節 たくさん子供が生まれるまち（住宅・宅地整備）

- 第2章 自然を生かしたまちづくり（環境保全）
 - 第1節 きれいな水が流れるまち（河川整備、管理）
 - 第2節 きれいな海・浜を求めて（海岸整備、管理）
 - 第3節 ゴミゼロのまちづくり（ゴミの減量化・環境美化）
 - 第4節 四季を感じるまちへ（農地保全・緑地、植栽整備、管理）

- 第3章 安心して住めるまちづくり（交通安全・防災・防犯）
 - 第1節 地区内交通事故ゼロをめざして（地域交通安全組織の確立）
 - 第2節 大雨も怖くない、防災に強いまち（自主防災組織の確立）
 - 第3節 夜道も安心、明るいまち（地域防犯体制の確立）

●第1章 居心地のよいまちづくり（生活基盤整備）

○第1節 子供、高齢者および障害者の生活に配慮したまち（道路の整備）

現状・課題	目標	計 画		備 考
		事業名	内 容	
<ul style="list-style-type: none"> ・町内の生活道路は比較的狭いが、自転車・歩行者が多く危険な状態 ・国道は、歩道が狭く、子供の通学に危険があるだけでなく、高齢者の手押し車が車道を通行しなければならない状態 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者、子供、障害者が安心できる生活圏の確保 	道路バリアフリー事業	・西津橋、大手橋幅幅に伴う国道162号整備での歩道幅員拡大およびバリアフリー化の実現	
		安全道路空間事業	・子供から高齢者までが安心して移動できる道路の確保 (一方通行箇所を設けることも視野に入れ検討)	
		一人暮らしケア事業	・一人暮らし高齢者宅の除雪等ケア体制の充実	

○第2節 みんな元気に遊ぶまち（公園施設の有効活用）

現状・課題	目標	計 画		備 考
		事業名	内 容	
<ul style="list-style-type: none"> ・地区内に多くの公園施設があるが、利用者が少ない ・設備が充実した若狭総合公園を積極的に利用していない 	<ul style="list-style-type: none"> ・既存の公園を利用しやすい環境を作り出すとともに、健康づくり、世代間交流を推進するイベントを実施し、公園施設を有効な利用を図る 	施設等活性化事業	<ul style="list-style-type: none"> ・朝市などのイベントを開催し、現存する施設の有効利用と地区民のつどいの場所として位置づける (海岸施設の有効利用) 	

○第3節 たくさん子供が生まれるまち（住宅・宅地整備）

現状・課題	目標	計 画		備 考
		事業名	内 容	
<ul style="list-style-type: none"> ・古くからの生活にあわせた住居が多く、実家を離れて生活する若年世代の増加により、地区内の児童数減少と高齢化に拍車をかけている 	<ul style="list-style-type: none"> ・若年世代の夫婦が、安心して生活や育児ができる環境を整える 	下町再生事業	<ul style="list-style-type: none"> ・若年世代の夫婦が住みやすいよう、西津下町の再開発を図るとともに、地区内の新改築に対する何らかの助成方法を模索 	
		下町再生事業	<ul style="list-style-type: none"> ・確保が困難な自家用車の駐車を、地区の再開発により生み出す（特に下町区域） 	

●第2章 自然を生かしたまちづくり (環境保全)

○第1節 きれいな水が流れるまち (河川整備、管理)

現 状・課 題	目 標	計 画		備 考
		事 業 名	内 容	
・開発等による湧水の減少と生活排水の増加による、河川水質の悪化	・水質の向上を図り、昔のような生物が生息できる河川等に近づける。	河川環境美化事業	・弁天川を代表とする河川および側溝の整備 (防災体制の整備、環境保全の推進)	
		ほたるのまち再生事業	・ほたるの再生に向けた学習および実践 (ビオトープ事業の推進)	

○第2節 きれいな海・浜を求めて (海岸整備、管理)

現 状・課 題	目 標	計 画		備 考
		事 業 名	内 容	
・西津海岸のゴミが多く、海水の水質や海底の状況も昔に比べ悪化	・海水浴ができるような海岸、水質の再生	海岸再生・美化事業	・山手・小松原線の(小湊～板屋町～川西)の整備に伴う、川西海岸再生	資料②
			・地区全体での海岸管理 (地区全体による定期的な海岸清掃の実施)	

○第3節 ゴミゼロのまちづくり (ゴミの減量化・環境美化)

現 状・課 題	目 標	計 画		備 考
		事 業 名	内 容	
・地区内道路、空き地等への不法投棄等により、町内の環境が損なわれている	・地域全体で地域景観の向上に努める	環境保護事業	・不法投棄への監視	
			・分別の徹底とゴミの総量削減への取組み	
			・海岸清掃との連携	
			・ペットの糞ゼロのまちへ	

○第4節 四季を感じるまちへ（農地保全・緑地、植栽整備、管理）

現 状・課 題	目 標	計 画		備 考
		事 業 名	内 容	
・宅地開発による農地の減少、緑地・植栽の減少	・農地の保全、公園、緑地への植栽を進め、自然と一体化した環境整備	自然環境再生事業	・公園等への植栽（四季の実感）	
			・道路線への植栽（実のなる木の植栽等）	
			・花いっぱい運動の推進 （世帯で応募し、優秀者へはふるさと祭で表彰する等）	

●第3章 安心して住めるまちづくり (交通安全・防災・防犯)

○第1節 地区内交通事故ゼロをめざして (地域交通安全組織の確立)

現 状・課 題	目 標	計 画		備 考
		事 業 名	内 容	
・地区内交通量の増加による歩行者等の交通弱者に対する環境の悪化	・地区内交通事故ゼロに向け、交通安全の意識向上と交通弱者の安全確保	交通対策事業	<ul style="list-style-type: none"> ・PTAなどの団体が連携し、通学時間帯における交通安全活動の実施と啓発活動を行う ・各層を超えた交通安全教室を開催し、地区民全体で交通安全に対する認識の向上 	

○第2節 大雨も怖くない、防災に強いまち (自主防災組織の確立)

現 状・課 題	目 標	計 画		備 考
		事 業 名	内 容	
・台風や大雨により公民館前をはじめとする各所において冠水が度々発生	・地区を自分たちで守る自主防災組織の整備	防災対策事業	<ul style="list-style-type: none"> ・各区単位で自主防災組織を結成し、連絡および避難体制等の体制整備 ・地区全体としての防災体制の確立 (福谷区青壮年会の例を参考に) ・区名表示板を設置し、現在地と避難所を表示 	

○第3節 夜道も安心、明るいまち (地域防犯体制の確立)

現 状・課 題	目 標	計 画		備 考
		事 業 名	内 容	
・街路灯の少ない箇所があり、交通、防犯の両面で不安な箇所が存在	・道路への街路灯整備だけでなく、自警団組織を結成し西津のまちから犯罪、事故を無くす体制の確立	防犯対策事業	<ul style="list-style-type: none"> ・地区内の照明必要箇所の洗い出しと防犯灯等の整備 ・防犯隊等との連携による地区内の安全体制の確立 	

西津・やうちのまちづくり 産業観光編

◎基本テーマ

よき伝統を守りつつ、時代の変化に応じた迅速な対応ができ、人と人が心から触れ合う交流人口1万人のまち

<テーマ説明>

箸や水産業、各種祭りや地蔵盆など、貴重な伝統産業、観光資源が脈々と現在に受け継がれている西津。各々の産業や行事が受け継がれている根源を理解し、守り続け、そして次の世代へと申し送る事が現代の私たちに求められています。しかし、ただ、今までの伝統を守りつづけるだけでは、この時代を生き抜いてはいけません。行事等の根源を守りつつ、次々と押し寄せて来る急激な変化に対応できる人間を育て、西津地区民同士、また、地区外の人とも心から触れ合える雰囲気を作り上げ、本当にくつろげるまちを育成していくことをめざします。

<目次>

- 第1章 歴史ある産業が時代に適合するまちづくり
 - 第1節 日本食の基本「水産業」の活性化
 - 第2節 食文化の基本「箸産業」の活性化
 - 第3節 時代に適合した新たな産業の創設

- 第2章 訪れる人も住んでいる人も心やすらぐまちづくり（観光）
 - 第1節 もてなしの心育てるまちづくり
 - 第2節 心と心が交流できるまちづくり

●第1章 歴史ある産業が時代に適合するまちづくり

西津を代表する産業といえば、水産業と箸産業があります。この2つの産業の歴史は古く、将来に伝承すべき事柄は多く、また現在、小浜市が全力をあげて取り組んでいる「食」と非常に密接な関係があります。

しかし、今、どちらの産業も厳しい状況に追い込まれています。私たちは西津地区民として、地元の重要な産業について理解を深め、これら「食」につながる産業の新たな可能性を見つけ出していきます。

○第1節 日本食の基本「水産業」の活性化

若狭おばまが、御食国として発展してきた最も基本となる産業の1つが水産業です。御食国の食材の基本の1つが水産物です。その若狭おばまの中でも水産業の基点となった地域が、我等が「西津」です。しかし、最も誇れる西津の水産業は、現在、漁獲高の減少や後継者不足など、非常に厳しい状況下におかれています。私たちは、御食国としての重要な地位を占める西津の水産業の重要性を確認し、時代に即応した水産業の発展を目指します。

現 状・課 題	目 標	計 画		備 考
		事 業 名	内 容	
水産業の後継者不足が深刻化している	水産業の魅力を発信し、後継者を育てていく。	体験型水産業	漁家組合との協力を図り、西津の水産業を見学する機会を設け、水産業への理解を深める。 また、市等との協力により、実際に、水産業に従事するブルーツーリズムを実施し、広く全国から参加者を募る。	
		水産高校、県立大学との連携事業	水産高校生に遠洋漁業だけでなく、近海漁業を実際の西津の漁船で体験する機会を設ける。 また、県立大学と西津漁協との緊密な情報交換を行い、西津の水産業を直接発展させる研究を行い、その手法を実現化させる。	

日本の食卓から魚離れが進行している	日本食の基本が魚料理にあることを認識し、すべての家庭で魚料理ができるようにする。	魚とのふれあい	西津の浜で定期的に地曳網を開催し、小学生はもとより、大人や観光客に直接魚とふれあう機会を設ける。
		料理講習会	地曳網の開催に併せて、その場で、魚の料理教室を実施する。魚のさばき方から西津の郷土料理、だけでなく、包丁の研ぎ方や箸のマナー等も指導する。
漁港や砂浜が地区民の憩いの場ではなくなっている	漁港や砂浜が西津地区民の憩いの場として定着し、海に親しめるようにする。	ハード整備	漁港や砂浜に休憩ができる施設を整備し、地区や区単位の行楽行事等ができるようにする。
		維持管理	西津地区民が砂浜や漁港周辺を清掃等の維持管理を継続的に行い、西津にとって、本当に親しみのある心の安らぐ場とする。
生活リズムの違いにより、水産業従事者との交流が薄らいできている	西津区民の交流を活性化させる。	あいさつ運動	漁港や砂浜においては、出会った人とは、必ず、あいさつをする運動を行う。小学校はもとより、西津のすべての団体が積極的に推進する。
水産業の実態がわからない	水産業の実態を多くの人に把握してもらう	牡蠣養殖の手伝い	内海で実施し、比較的安全である「牡蠣」養殖について、西津漁家組合が共同で行う部分について、小学生や一般のボランティアと行う。
		網仕事体験	実際に漁に使用する網の修理や延縄漁の延縄、また、ロープの結び方や処理の仕方を小学校や公民館で指導する。
昔の西津の水産業がわからない	西津の水産業の歴史を認識しなおす	西津丸の模型の復元	昭和11年2月に竣工し、福井県の遠洋漁業の先駆けとして活躍した西津丸の復元模型を作成し、漁協または公民館にその功績とともに展示する。

○第2節 食文化の基本「箸産業」の活性化

日本文化の独自性の観点からも、また、御食国としての観点からも、非常に重要なポイントとなる箸産業は、西津を代表する産業の1つです。しかし、核家族化による箸の文化やマナーの伝承がうまくいかないケースがあり、また、産業としても、人件費の安い国外産に押されつつあり、非常に厳しい現状下にあります。全国一の塗箸の産地である西津として、箸文化の伝承と箸産業の発展を目指します。

現状・課題	目標	計画		備考
		事業名	内容	
箸会館は地元産業の基点の場だが、地区民の利用が少ない	西津地区民に開放された会館を目指す	「箸祭り」地元参加	箸祭りを箸産業関係者の催事ではなく、西津地区の祭りとして位置付け、実行委員会へ地元各種団体が参加し、他の行事との連携を図る。 (同時開催等)	
	箸産業を西津の主要産業と位置付けて、地区を上げて活性化させる。	箸のデザイン募集	箸のデザインを全国募集する。応募されたデザインを実物化して、コンテストを開催する。特に優秀な作品は商品化していく。	
		西津の箸のブランド化	現在行っているブランド化をさらに進める	
		箸の多様化	現在もご祈祷箸、長寿箸等が商品化されているが、個性的な箸の開発を進める	
		買う人と作る人が顔を 見せあう	現在行われている砥ぎ出し体験などの体験事業をさらに多様化し広げる	

○第3節 時代に適合した新たな産業の創設

伝統的な産業をただ保守するだけでなく、時代の変化に応じた新たな試みも積極的に実施していく必要があります。

西津地区として、斬新なアイデアの下、今後の産業に対する夢を模索してみました。

現 状・課 題	目 標	計 画		備 考
		事 業 名	内 容	
構造改革により、各地に特別区が設置されている	カジノ構想	カジノ特別区認定申請		
少子高齢化の進行により、新産業には高齢者を対象とした産業が考えられる	高齢者が、若狭の自然の中で、充実した日々を過ごす。		空き家を利用して、都会からの老夫婦を西津地区民として受け入れ、美しい自然の中で人情の厚い地区で、第二の人生を楽しんでもらう。	

●第2章 訪れる人も住んでいる人も心やすらぐまちづくり（観光）

○第1節 もてなしの心育てるまちづくり

西津においても、貴重な観光資源が多いですが、この貴重な観光資源の価値を西津地区民が認識し、守り育て、市外や県外にPRを行い、活用を図る必要があります。訪れる人に対して、心から触れ合う雰囲気を作り出し、もてなしの心を育むまちづくりを目指します。

もてなしの心を育み、観光資源を十分に活用することにより、観光客等、交流人口が大幅に増加し、活気あるまちが築けるものと期待します。

現 状・課 題	目 標	計 画		備 考
		事 業 名	内 容	
『地蔵盆』 伝統行事として実施され、観光資源としては利用されていない。	地蔵盆の魅力を県外に発信し、観光資源としての魅力を磨く。 地蔵盆を西津の交流のときとして捉え、活性化の起爆剤とする。	地蔵盆の魅力発信	子供の祭りとしての地蔵盆は全国的に非常に珍しい。市や観光協会において、重要な観光資源としての位置付けを行い、パンフレットやホームページ等で紹介していく。 地蔵盆の情報を一括して、公民館で管理する。 (例えば、いつ地蔵さんを洗うか、大将は誰か等)	
		小屋の復活	昔の地蔵さんの小屋を各町で復活させ、西津の大通りに面する場所に設営する。地蔵小屋を集めることにより、観光資源としての価値を高める。	
		歩行者天国の設置	西津の大通りを通行止めにし、地蔵盆を地区全体で実施する。この子供の祭りに併せ、地区の大人や観光客に楽しめるイベントを実施する。	
『綱女顕彰祭』 知名度は低く、西津においても一部の行事となりつつある。	地元の認識を高め、また、情報発信を行い、知名度を全国規模とする。	西津の子供の認識度を高める	綱女について、小学校の行事として、顕彰祭に参加し、認識を高める。	
		情報発信	市や観光協会のパンフレットに掲載し、ホームページ等で紹介する。また、神社庁の機関紙等にも掲載してもらう。	

『川西の浜』 地元のみ海水浴場として利用	観光客を集客できる砂浜として整備するだけでなく、地区民がくつろげる場所とする。	砂浜整備	下水道への加入を進め、水質改善を一層進めると同時に、住民による定期的な清掃を実施し、美しい砂浜を取り戻す。	
		海水浴場整備		
『天ヶ城』 現在、ほとんど活用されていない	自然豊かで見晴らしのいい場所を観光スポットとして整備する	天体観測所 水鳥観測(道路整備)		
『定期観光船の利用』	定期観光船をしけの時は湾内クルージングを行い西津の魅力をPRする	定期観光船の運航	蘇洞門定期観光船がしけで湾外へ出れないときは、湾内クルージングとし、その時に西津港へ寄港する。上陸後、千石荘や箸の製造現場・社寺等の観光を実施し、観光客にPRする。	
『祭り』 地元の行事としてのみ行われ、観光としての演出がない。	観光資源としての価値を高め、情報発信していく			
『総合公園』 親子連れの憩いの場として利用されている。	西津の活性化につながるイベント会場として利用	各種イベントの開催会場として活用		

○第2節 心と心が交流できるまちづくり

観光による交流人口の増加だけでなく、西津区域内の交流を活発にすることが、「活気あるまち」づくりに欠かせないものです。心と心が交流し、心から

安らげるまちを目指します。

心の交流には、まず、第一に、顔と顔、膝と膝を付き合わせる機会が必要です。西津区域の全住民のイベントとして体育祭等がありますが、定期的に

を合わせる機会ではないため、定期的なイベントが必要です。

現 状・課 題	目 標	計 画		備 考
		事 業 名	内 容	
	西津区民が定期的に顔を合わせる機会を作るとともに食や健康について知識や技術を身に付ける	朝市の開催	西津漁港に水揚げされた新鮮な地元の海産物（特に雑魚）や地元の野菜をメインに朝市を開催する。 魚のさばき方、郷土料理教室など、核家族等に対する指導も行う。 子供達も楽しめるように、地曳網を開催する。 継続的に実施できる組織を立ち上げ、財源の確保や誘客体制を整える。	
人口減少が懸念されるにもかかわらず各種行事がバラバラで開催	各々の行事の主旨を尊重しつつ、区民全員で楽しめるよう統合した行事	(各実施主体との調整)		

西津・やうちのまちづくり 教育福祉編

◎基本テーマ

学びあい、生きる喜びを共感できるまちづくり

<テーマ説明>

“まちづくりは、ひとづくり”の理念のもとに、老若男女が互いに睦み合い、世代を越えて学び合い連帯する、地域の教育力の回復をめざします。古き良き西津の底流に生き続けた『西津の子どもは、西津地区民の責任で育てる』という姿勢を守り続けたいと思います。さらに西津地区民の一人ひとりが『たくましく生きようとする力』を育むために、学校教育は勿論、地区の中核的立場にある公民館の活性化、さらに社会教育・社会体育の振興を図ります。

また、西津においても少子高齢化は例外ではなく、老人世帯数は増加の一途をたどっています。したがって、保健・医療基盤の整備は、自治体の重要課題であり、地域にあっては幼児・障害者・高齢者にやさしいまちづくりの推進や防災・防犯体制の強化を図り、『安心して暮らせる思いやりに満ちたまちづくり』をめざします。

<目次>

- 第1章 人材育成をめざすまちづくり
 - 第1節 家庭教育の充実をめざす
 - 第2節 学校教育の充実をめざす
 - 第3節 地域の教育力の回復をめざす
 - 第4節 社会教育の充実をめざす
 - 第5節 スポーツ・レクリエーション充実をめざす
 - 第6節 食生活や食育の改善・充実をめざす

- 第2章 生きがいに満ちた福祉のまちづくり
 - 第1節 高齢者福祉を第一義に考えるまちづくりをめざす
 - 第2節 弱者（障害者・乳幼児・要介護老人）にやさしいまちづくりをめざす
 - 第3節 安心して暮らせる思いやりに満ちたまちづくりをめざす

●第1章 人材育成をめざすまちづくり

○第1節 家庭教育の充実をめざす

現 状・課 題	目 標	計 画		備 考
		事業・施策	具体的内容	
・核家族、共働き世帯の増加	・家庭での幼児、学童保育を支援	・保育時間の延長	・保育時間の延長や学童保育等の要望	・午後6時まで延長保育は実施中
・子育てに悩む母親の存在	・3歳までの心身の健やかな発達の支援	・子育て支援事業	・「お母さんといっしょ」事業の継続・発展	・好評を得ている
・父親の出番の重要性	・家庭教育における父親の存在を重視「一人の父親は、百人の教師に勝る」	・父親交流事業	・月1回「おやじと遊ぼう会」?設定 子育てに父親が積極的に参加する	・区、PTA、公民館
・高齢者世代の知恵の伝承	・高齢者世代に活躍の場を作り、子どもたちに生きる知恵とよき慣習を伝承	・3世代交流事業	・高齢者世代に活動の場を提供 ・自信回復や新たな生きがいの喚起	・学び合い学習

○第2節 学校教育の充実をめざす

現 状・課 題	目 標	計 画		備 考
		事業・施策	具体的内容	
・“西津っ子”の健全育成	・心・体・学力の充実	・生きる力の育成	・体力育成のための継続な推進計画 児童に関心の深い“縄跳び競争”等	・学校技（国技的競技）
	・『米百俵』の理念 （教育は百年の計）	・基礎学力充実計画	・少人数学級／習熟度別学級（教員）の要望	・県・市への要望
		・落ちこぼれ対策	・個別指導（学校ボランティアの活用）	
	・“いのち”の教育の重要性	・人権教育	・他人への思いやり 善悪の判断力育成	・他人の子にも叱責

	・個性的な学校づくり	・西津っ子育成計画	・家庭・地域が連携・協力して 特色ある学校づくり	・学校評議員制度等
・ふるさと教育の推進	・子どもたちの郷土愛の醸成	・郷土学習	・西津～若狭の歴史や偉人・賢人の 学習	・総合学習の活用

○第3節 地域の教育力の回復をめざす

現 状・課 題	目 標	計 画		備 考
		事業・施策	具体的内容	
・たくましい“西津っ子”の 育成	・地域の子どもは地域で育て よう！	・挨拶・声かけ運動	・地域の大人の共通認識・連帯責任 (防犯)	・過去の集Pの実践活動 (非行化防止)
・県立大学生との交流				
・少年野球・スポ少の育成	・第4の教育力（社会教育団体） の強化育成	・少年野球・スポ少	・指導者と保護者の連帯による心身の 健全育成	・活動の支援
・子供会の再生・活性化	・組織の再編・強化	・西津地区子供会	・指導者組織の改編と地区リーダーの 明確化	・市子連との連携
・西津各種団体の活性化	・過去の業績を振り返り組織の 再編・強化	・各種団体の再興	・リーダーの若返りと、中高年の バックアップ	・若さと新風注入
・老人クラブの生きがい活動	・学校の総合学習の時間の活用	・学び合い学級	・学校からの要請にしたがい西津小の 臨時講師	・過去3ヶ年の実績
・公民館での自主勉強会開催	・夏季休暇週2日午前中・児童 自主勉強会	・自主勉強会	・保護者の当番制で児童の指導（世話 10ヶ年継続	・酷暑：冷房設置要求

○第4節 社会教育の充実をめざす（生涯学習の充実）

現 状・課 題	目 標	計 画		備 考
		事業・施策	具体的内容	
・公民館の活性化・振興	・西津地区民の心のよりどころであり、学習やまちづくりの拠点施設としての役割	・公民館活性化事業	・公運審・公民館ボランティア・各種団体等の積極的支援 ・地域住民全体の連帯・協力	・無関心層の増加
・西津の伝統文化の継承	・簡素化され消滅の危機にある伝統文化の継承	・伝統文化保存事業（祭礼や地蔵盆等）	・神社や地区ごとの組織強化と後継者・リーダーの育成が急務	・青年・壮年部組織の再興／強化
・いきいきシルバー教室開催	・生涯学習の実用性を体験	・学びと実践教室	・郷土の歴史や生活、健康講話等 ・学びの実践の継続	
・各種団体サークル活動	・同じ趣味をもつ者たちの学習と親睦	・公民館教室	・婦人会・母親クラブ・老人クラブの組織強化	・各団体の後継者作り

○第5節 スポーツ・レクリエーション充実をめざす（社会体育）

現 状・課 題	目 標	計 画		備 考
		事業・施策	具体的内容	
・西津地区体育協会の体制強化	・伝統ある体制の維持 ・指導（者）の強化	・年間スポーツ行事	・市内対抗・西津地区対抗の競技スポーツに参加	・区民の関心高揚
・西津地区民総出の体育祭	・小浜市で最も古い歴史と輝かしい伝統を地区民が自覚し継承	・区民総出の体育祭	・幼児から老人まで老若男女総出の区民対抗体育祭 ・生涯スポーツ社会づくりの基盤となる競技の導入	・区民へのPR
・地区民の健康保持・増進計画	・生涯スポーツの一環として自然（山・海）に恵まれた健康ウォークコースを設定（挨拶・ふれあい道路）	・散歩コースの設定（愛称募集）	・挨拶道路の設定・ふれあいベンチ等製作 初級コース（西津海岸道路） 中級コース（西津一周）	・コース名・距離表示 ・ベンチ製作 ・コース整備

			上級コース（県立大・一本松） 西津寺社・天ヶ城コース等	
・1区1レクリエーションの 定着	・区民歩こう会・夏祭り・旅行 等の立案	・区レクリエーション	・区民の親睦を図る目的で独自の活動 計画を实践	
・温水プール、総合公園、 ゲートボール場の活用				

○第6節 食生活改善・食育の改善と充実をめざす

現 状・課 題	目 標	計 画		備 考
		事業・施策	具体的内容	
・食生活改善と啓蒙活動	・味覚の変化に適応する新メニューの開発 ・栄養価に富む新しい西津の食文化の形成	・食生活改善運動 新特産品開発	・食生活改善委員の研修会 （研究発表会）開催 ・西津特有の創作料理等の取り組み	・自主研修
・学校給食のあり方の検討	・地産地消の奨励 給食による偏食解消	・健全な学校給食	・郷土の食材資料作成 栄養指導の先駆的役割	・学校開放の一環
・男性の料理講習会	・男女共同参画社会 男性も料理の面で自立	・料理講習会	・定期的に各年齢層の男性を集め、 料理実習会	・参加者実費負担
・発育障害飲食物・ 健康食PR	・発育盛りの子供食や 老人健康食の指導	・栄養指導講習会	・年に一回程度、栄養士による指導 講習会実施	・市栄養士派遣依頼

●第2章 生きがいに満ちた福祉のまちづくり

○第1節 高齢者福祉の充実をめざす

現 状・課 題	目 標	計 画		備 考
		事業・施策	具体的内容	
・老々介護・独居老人対策	・(訪問)介護サービスの基盤整備	・地域支援事業 介護予防対策	・老々介護家庭や独居老人に対する 地区住民等の支援体制の確立 (三人組制度等の工夫)	・民生委員の助力
・健康な高齢者の社会参加	・生涯学習・生涯スポーツ・ ボランティア活動に積極的に 参加	・老人クラブの年間事業 計画	・老人クラブの事業計画に、自分の 健康増進のために積極的に参加 (元氣なシルバーパワーに期待)	
・健康保持の教室開設	・健康講座・健康保持体操・ 健康ウォーク等に参加し、 心豊かな生活追求	・高齢者対象新事業 (生活習慣病予防)	・いきいきシルバー教室やシルバー 健康体操教室等を老人クラブ有志 で結成し、自主的に活動	
・介護老人福祉施設の建設	・高齢者福祉のまちづくり	・福祉基盤の充実	・自治体の公的扶助や地域福祉活動の 推進	・自治体の積極的支援

○第2節 弱者(障害者・乳幼児・要介護老人等)に優しいまちづくりをめざす

現 状・課 題	目 標	計 画		備 考
		事業・施策	具体的内容	
・障害者対策	・心的・身体的バリアフリー化の 推進	・障害者自立支援	・障害者福祉環境の整備・充実 福祉手当支給	・地区民全体の理解と 支援体制の構築
・痴呆性老人・要介護老人 対策	・痴呆性老人の早期発見 介護サービスの充実	・家族への支援対策	・地区住民の相互扶助・支援体制の 確立 訪問介護・デイサービス・リハビリ 等の支援	

・乳幼児（児童）保護対策	・医療費補助 （3歳未満から就学前延長） ・民生委員・児童委員活動の 推進	・相談体制の充実	・子育て相談 ・民生委員・児童委員への悩み相談等 の相談体制の整備、拡充 地区民へのPR	・自治体の支援・助成 /
・母子・寡婦・父子家庭福祉	・生活安定への支援 相談・指導体制の充実	・生活安定への支援	・不安定な家庭に対する経済・精神面 からの支援	

○第3節 安心して暮らせる思いやりに満ちたまちづくりをめざす

現 状・課 題	目 標	計 画		備 考
		事業・施策	具体的内容	
・地場産業等の雇用拡大	・地場産業・市内各企業の雇用 拡大。労働条件・環境改善等 で生活安定の確保	・雇用拡大事業	・自治体の企業活性化や誘致策に よる雇用拡大促進	・自治体の施策充実
・地区全体のバリアフリー化	・障害者・幼児・高齢者等に 優しく安全な環境の整備	・環境整備事業	・弱者すべてにやさしく安全なまち づくり 公的施設・国道から早期に実現	
・防災・防犯体制の強化	・防災（自然・原子力災害） 体制の整備 ・犯罪・青少年非行化の防止	・地区の防災・防犯対策 事業	・台風地震等の自然災害や原子力災害 に対処する避難場所の明確化 ・凶悪犯罪・大事故の連絡等、地区や 家族間での周知徹底 ・防犯灯の整備拡充	・国・県・市の強力な 指導や支援 ・市民や地区民の協力

西津・やうちのまちづくり 歴史文化編

◎基本テーマ

西津の歴史を探り、新しい文化の創造につなげる

<テーマ説明>

西津には、祭りや箸、漁業などに関する古い歴史があります。そうした歴史は、今、世代から世代へ引き継いでいかなければ失われてしまいかねません。この西津の歴史を探り、伝え残すとともに、次の時代の新しい文化の創造につなげていきます。

<目次>

●第1章 西津の歴史の調査

○第1節 西津の歴史の調査

○第2節 西津の歴史の保存・伝承

●第2章 西津の文化の調査・伝承

○第1節 西津の文化の調査

○第2節 西津の文化の保存・伝承と新しい文化の創造

●第1章 西津の歴史の調査・伝承

今の西津をかたちづけてきた優れた歴史を調査・整理し、次世代に伝承していくことにより、誇りある西津のまちづくりをめざします。

○第1節 西津の歴史の調査

現 状・課 題	目 標	計 画		備 考
		事 業 名	内 容	
<ul style="list-style-type: none"> 西津の歴史は古いが、体系立てて調査されたことが少ない 	<ul style="list-style-type: none"> 西津の歴史を様々な角度から調べる 	西津の歴史調査事業	<ul style="list-style-type: none"> 歴史全般 西津の歴史は、まだ海だったころまで遡り、その名残が地形等に現れているが、そのころから、昭和、平成にいたるまでの歴史を調査する 	
			<ul style="list-style-type: none"> 漁業 昭和20年代の鯖がたくさん捕れた頃を中心に西津の漁業の歴史を調査する 	
			<ul style="list-style-type: none"> 箸 箸製造の技術の変遷の歴史を調査する 	
			<ul style="list-style-type: none"> 町名 西津に残る町名の歴史を調査する 	
			<ul style="list-style-type: none"> 先人、偉人 西津の先人、偉人について調査する 	

○第2節 西津の歴史の保存・伝承

現 状・課 題	目 標	計 画		備 考
		事 業 名	内 容	
<ul style="list-style-type: none"> 西津の歴史については、すでに若い世代にとっては、分からなくなってしまっている部分が多い 今、世代から世代へ伝承しておかなければ失われてしまう恐れがある 	<ul style="list-style-type: none"> 西津の歴史を保存し、伝承する 	西津の歴史の保存・伝承事業	<ul style="list-style-type: none"> 西津村史の編纂 前節で調べた内容を元に西津村史を編纂し保存、伝承する 	
			<ul style="list-style-type: none"> 天ヶ城史の編纂 天ヶ城に関する資料を収集し、それをもとに天ヶ城史を編纂し保存、伝承する 	

			<ul style="list-style-type: none"> 西津の歴史的写真のデジタル化 各家に保存されている写真をお借りし、デジタル化して保存、伝承する 	
--	--	--	---	--

●第2章 西津の文化の調査・伝承

西津が有する豊かな文化を調査・整理し、次世代に伝承するとともに、新しい文化創造につなげます。

○第1節 西津の文化の調査

現 状・課 題	目 標	計 画		備 考
		事 業 名	内 容	
<ul style="list-style-type: none"> 西津ならではの文化について、それがあまりにも身近であるため、西津特有の個性的な文化であると認識されていない場合が多い 	<ul style="list-style-type: none"> 西津特有の個性的な文化について調査する 	西津の文化調査事業	<ul style="list-style-type: none"> 地蔵 西津に多い地蔵について、その由来等を調査 	
			<ul style="list-style-type: none"> 石碑 西津にある石碑、西津以外にあって西津に関する石碑について調査 	
			<ul style="list-style-type: none"> 地場産業、伝統工芸 箸などの地場産業について調査 	
			<ul style="list-style-type: none"> 方言、ことわざ 西津特有の方言、ことわざについて調査 	
			<ul style="list-style-type: none"> 町並み、家屋 西津らしさが残る町並みや家屋を調査 	
			<ul style="list-style-type: none"> 食文化 西津の各家庭に伝わる食文化について調査 	
			<ul style="list-style-type: none"> 遊び 西津の昔ながらの遊びについて調査 	
			<ul style="list-style-type: none"> 習慣 西津特有の生活習慣について調査 	
			<ul style="list-style-type: none"> 寺社仏閣 西津の寺社仏閣について調査 	

○第2節 西津の文化の保存・伝承と新しい文化の創造

現 状・課 題	目 標	計 画		備 考
		事 業 名	内 容	
<ul style="list-style-type: none"> ・西津の文化について、区民が触れ、認識できるような機会が少ない ・歴史と同様、今、伝え残していかなければ失われる恐れがある 	<ul style="list-style-type: none"> ・西津の文化について、地区民が触れ、学ぶことができる方法で保存し伝承する 	西津の文化保存・伝承と新しい文化創造事業	<ul style="list-style-type: none"> ・マップづくり 西津にある地蔵や寺社仏閣、旧町名等を盛り込んで、文化がひと目でわかるマップを作成する 	
			<ul style="list-style-type: none"> ・紙芝居づくり 西津の文化を紹介する冊子を作成する 	
			<ul style="list-style-type: none"> ・冊子づくり 前節の各項目の調査結果をまとめた冊子を作成する 	
			<ul style="list-style-type: none"> ・小学校の空き教室の利用 箸の製造過程で使われる道具や昔の遊びの道具など、西津の文化にまつわるものを、小学校の空き教室を利用して展示する 	
			<ul style="list-style-type: none"> ・顕彰際の実施 石碑を調査し、それにまつわる顕彰祭を行う 	
			<ul style="list-style-type: none"> ・祭りの統一的開催 西津の祭りをイベント的に統一して開催する 	
			<ul style="list-style-type: none"> ・体育大会等の再生 現在行っている体育大会の他、各種スポーツ大会について、地区の状況や時代に即した内容となるように再生していく 	
			<ul style="list-style-type: none"> ・新しい交流事業の創造 現在行っているふれあいまつりの充実を図りながら、地区の原状に即した文化・交流事業を創造する 	
			<ul style="list-style-type: none"> ・天ヶ城址整備 天ヶ城址を、地区民だけでなく観光客等が憩いの場として訪れられるように整備する 	

西津・やうちのまちづくり委員会 名簿

○委員長 田邊 直
 ○副委員長 浜田孝一 村古 誠
 ○事務局 西津公民館

生活・環境部会

部会長	浦谷和枝	下竹原
副部会長	西崎 勉	小松原川西
書記	佐藤善一	小湊
	井上新一	西長町
	今島寿夫	西長町
	清水喜義	北長町
	杓子 明	小松原川西
	松見義信	北塩屋
	藪本恵美子	大湊
	村古 誠	福谷

教育・福祉部会

部会長	福嶋義男	堀屋敷
副部会長	村井重喜	小松原川西
書記	今村昭広	小湊
	石野 保	福谷
	北川裕恵	小湊
	儀峨雅美	小湊
	田邊 直	小湊

産業・観光部会

部会長	窪田隆夫	下竹原
副部会長	小松一雄	北塩屋
書記	松見和彦	小松原川東
	内田利定	小松原川東
	木本賢治	板屋町
	杉谷光由	小湊
	中村宗治	下竹原
	浜田孝一	北長町
	濱詰眞二	下竹原
	船井京子	福谷
	宮川正行	板屋町

歴史・文化部会

部会長	西脇幸司	北長町
副部会長	竹田茂芳	西長町
書記	吉岡和広	四谷町
	今村 勉	小湊
	川嶋裕乃	小湊
	十一家順子	北塩屋
	武岡美津子	板屋町
	濱田治清	新小松原
	吉川勇生	小湊